



福崎町立
柳田國男・松岡家記念館
〒679-2204
神崎郡福崎町西田原
1038の12
電話：0790-22-1000

岩田健三郎先生の 版画教室

新年最初のご挨拶である年賀状に自分で彫った版画はいかがですか？



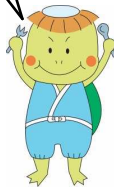
岩田健三郎 作

12月18日に記念館にて岩田健三郎先生による版画教室を開きます。丁寧に教えていただけるので、版画を彫ったことが無い方でも大丈夫です。版画に絵の上手、下手はありません。自身で彫られた版画を刷った年賀状はきつと個性的なものになるでしょう。

なお、事前の申込み制となります。みなさまのご参加をお待ちしております。

日付 12月18日
時間 13時30分～
場所 2階講義室
費用 材料費100円
持ち物 筆記用具
彫刻刀

※受講には事前に申込みが必要です。記念館までお申込みください。
※彫刻刀が無い方は申込みの際にお伝えください。
※小学生低学年の方は保護者同伴で参加してください。



講師紹介

姫路市生まれ。姫路市を中心に活動されている版画家。テレビやラジオのパーソナリティとしても活躍。あちこち歩き、そこで出会った人や町を主に版画の題材としている。夫婦で水上村、川のほとり美術館(姫路市野里)を開館。著作に版画集「あぜ径(あぜみち)」などがある。



新しい年を迎える準備

12月は、大掃除や正月準備などで大忙しという人も多いですが、江戸時代には、新年に歳神様を迎える準備を始める12月8日(上方では12月13日)を「事始め」と称していました。

柳田國男は、『年中行事覚書』の中で、「旧二月と十二月との八日の節句は、東京付近ではコトハジメ・コトヲサメなどと言つてかなり大切な祝祭日の一つだった」と記し、関西では一般に12月8日の方が重んじられていると述べています。

※同じ「事始め」という言葉が、農事を始める2月8日をさす場合もあります。

☆☆入館案内☆☆
☆開館時間
9時～16時30分
(入館は16時まで)
☆休館日
月曜、祝日の翌日
12月28日～1月4日
☆入館料
無料

ミュージアム フェア 2011 に出展します

12月23日から25日まで兵庫県民会館2階にて「ひょうごミュージアム・フェア2011」が開催されます。

兵庫県内のミュージアムの魅力を県内外に広く発信していくことを目的とし、第1回目となる本年度は播磨地区から40館以上の博物館が出展



日が沈むのも早くになりました。いつものように柳田國男生家の戸締りをする時も、雨戸を閉め、

します。当館からも歴史民俗資料館と合同で出展し、パネル展示を行います。また他の館からもさまざまなワークショップや展示がされます。一度にたくさんさんの博物館を経験できる機会です。ぜひお立ち寄りください。



最後に出入り口のカギをかける際には「中は真っ暗だなあ」と思うことが多いとあります。当然ですね。生家には電灯はなく、明かりと言えば火災警報装置の赤いランプだけです。これも昔は無かったものですから、柳田國男が住んでいたころはまさに「太陽が沈むと寝る」ような生活だったのかなと感じます。

日没と共に寝て、朝日と共に起きる。今では少し実践しにくい生活のスタイルですね。